

ふくい の さぼう

第24号

令和4年3月

全国治水砂防協会 福井県支部



通常砂防事業〔秋夜谷川2号砂防堰堤〕（若狭町井ノ口）

【目次】

【支部事業】

・あいさつ	1
・令和3年度事業報告	1
・福井県支部通常総会を開催（書面開催）	2
・（一社）全国治水砂防協会功労者表彰	2
・全国治水砂防促進大会に出席	2

【共催事業】

・防災出前授業を開催	3
・土砂災害防止に関するパネル展を開催	3
・雪崩防災に関する広報活動を実施	3
・土砂災害防止に関する絵画・作文コンクールを開催	4

【令和3年度 県からのお知らせ】

・防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策	5
・土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定	5
・要配慮者利用施設の避難確保計画作成を支援	6
・防災訓練の実施	6
・防災講習会、地域防災リーダー スキルアップ研修の開催	7
・土砂災害・洪水ハザードマップを更新	7
・県内初となる砂防カードを発行	8
・土砂災害危険度情報の提供	9
・土砂災害防止特別パトロールの実施	9
・盛土総点検の実施	9
・災害対策基本法の改正（災害警戒レベルの変更）	10
・令和3年に発生した災害	10
・令和3年度に完成した主な土砂災害対策施設	11

あいさつ



皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

令和3年は全国で967件の土砂災害が発生し、そのうち7、8月の件数は733件と約8割を占めました。

本県においても、7月29日の明け方から朝にかけて福井市や越前町で1時間80ミリ以上の猛烈な雨が降り、土石流やがけ崩れが発生し、人家などに被害が生じました。

激甚化・頻発化する土砂災害から住民の安全・安心な暮らしを守るため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用し施設整備を重点的に進めるとともに、住民の避難意識の醸成一層図っていく必要があります。

当支部におきましても、会員各位をはじめ関係機関と連携・協力し、土砂災害対策の一層の充実・強化に努めてまいります。

全国治水砂防協会 福井県支部
支部長 石山 志保

令和3年度 事業報告

年月日	場 所	内 容
<主催>		
3. 5.27	—	(一社)全国治水砂防協会 通常総会(本部のみで開催)
3. 8. 4	—	福井県支部通常総会(書面開催)
3.11. 9	—	(一社)全国治水砂防協会 北陸信越地区支部長・参与会議 (書面開催 ※福井県が開催県)
3.11.17	砂防会館(東京)	(一社)全国治水砂防協会 参与会 当支部 参与が出席
3.11.18	砂防会館(東京)	全国治水砂防促進大会 当支部 支部長、会員等計7名が出席
◇	議員会館(東京)	県選出国會議員に提言書を提出 当支部 支部長、会員等計7名が参加
<共催>		
3.5.31~6. 4	アオッサ1階	土砂災害防止月間パネル展<県と共催>
3.6. 7~6.11	福井市役所市民ホール	同上
3.6.14~6.18	県庁ホール	同上
3.6.21~6.25	エンゼルランド*	同上
3.6. 1~9.15	—	土砂災害防止に関する絵画・作文の募集<県と共催> (対象:県内の小・中学生)
3.6.23~12.1	県内小・中学校	防災出前授業(計12校)
3.12.1~12.7	—	雪崩防災週間(啓発ポスター、チラシの配布)

福井県支部通常総会を開催

福井県支部通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、8月4日(水)に書面開催し、議案(令和2年度事業報告、収支決算報告、役員選任、令和3年度事業計画・収支予算報告)について決議をいただきました。

また、役員の改選を行い、福井県支部支部長に大野市長、副支部長に南越前町長、理事に鯖江市長、永平寺町長、おおい町長が新たに就任され、監事に美浜町長が再任されました。(任期:令和3年8月4日から令和5年8月3日まで)

(敬称略)

役 職	市 町	氏 名
支 部 長	大野市長	石山 志保
副支部長	南越前町長	岩倉 光弘
理 事	鯖江市長	佐々木 勝久
理 事	永平寺町長	河合 永充
理 事	おおい町長	中塚 寛
監 事	美浜町長	戸嶋 秀樹

牧野前支部長が(一社)全国治水砂防協会功労者表彰を受賞

(一社)全国治水砂防協会では、長年、支部長等の役員を務めた方を対象に功労者表彰を実施しており、本県では令和3年5月に牧野前支部長(前鯖江市長)が受賞されました。

牧野前支部長は、平成17年度から監事に就任し、平成19年度からは副支部長、平成21年度から令和2年度までの11年余りは支部

長として、国会議員への提言活動など支部の活動に精力的に取り組まれ、本県の土砂災害防止対策の推進に貢献されました。

今回の受賞を心からお喜びいたしますとともに、これまでの功績に改めて感謝申し上げます。

全国治水砂防促進大会に出席

11月18日(木)に(一社)全国治水砂防協会主催の全国治水砂防促進大会が砂防会館で開催され、全国から1,300名超、当支部からは石山支部長、河合永平寺町長をはじめ会員等7名が出席しました。

大会では綿貫民輔会長の挨拶、斉藤鉄夫国土交通大臣の来賓祝辞に続き、国土交通省・

三上幸三砂防部長による講演、会員代表による意見発表が行われ、最後に大会提言が満場一致で採択されました。

閉会後には当支部の活動として、石山支部長、中塚おおい町長をはじめ会員等7名が参加し、議員会館において県選出国会議員に提言書を提出しました。



全国治水砂防促進大会



提言書提出 稲田朋美衆議院議員へ



提言書提出 滝波宏文参議院議員へ

防災出前授業を開催（共催）

県と当支部の共催で、土砂災害・水害の基礎知識や災害に対する日ごろの備えの大切さを知ってもらうことを目的に、小学校高学年などを対象にした「防災出前授業」を平成17年度から開催しています。

令和3年度は小・中学校12校で開催しま



中名田小学校（小浜市）

した。講師は県砂防防災課や土木事務所の職員が務め、学校区のハザードマップの配布や砂防施設の紹介、ドローンのデモ飛行を行うなど、児童や生徒が関心を持ってもらえるよう工夫しています。

併せて、県の土木事業の紹介も行っています。



常盤小学校（越前町）

土砂災害防止に関するパネル展を開催（共催）

6月は「土砂災害防止月間」であることから、県民の土砂災害に対する理解と関心を深め、避難への意識づけを図るため、県と当支部の共催でパネル展を実施しています。今年度は、5月31日から6月25日にアオッサ他3箇所において開催しました。

防災情報、土砂災害警戒区域の確認方法やハザードマップの紹介、避難の考え方などのパネルを展示し、県民に関心を持っていただけるようPRしました。



パネル展（アオッサ）

雪崩防災に関する広報活動を実施（共催）

12月1日から7日の「雪崩防災週間」にあわせて、雪崩災害に対する県民の理解と関心を深めるため、県と当支部の共催で、市町をはじめ各関係機関に啓発ポスターやチラシを配布し、広報に努めました。

また、本格的な降雪期を前にした12月9日に、土木事務所、農林総合事務所、市、警察署、消防署が合同で、雪崩防止施設の点検等を行う特別パトロールを実施しました。



特別パトロール（大野市下唯野）

土砂災害防止に関する絵画・作文コンクールを開催（共催）

県と当支部の共催で、毎年6月の「土砂災害防止月間」にあわせ、土砂災害とその防止に理解と関心を深めてもらうことを目的として、県内の小・中学生を対象に土砂災害防止に関する絵画・作文を募集し、優秀作品の表彰を行っています。

令和3年度は6月1日から9月15日にかけて募集を行い、小学校17校、中学校8校から、絵画170点、作文87点の応募がありました。

県審査会での選考の結果、最優秀賞3点、優秀賞6点、佳作16点の計25点の絵画・作文が入賞しました。

また、優秀作品を国土交通省の中央審査会に推薦した結果、絵画(中学生)の部で福井市至民中学校の平馬勇星さん、作文(中学生)の部で福井市足羽第一中学校の野村光希さん、吉田陸さんの作品が、それぞれ国土交通事務次官賞(優秀賞)に選ばれました。

県コンクール入賞者(敬称略)

【絵画(小学生)の部】

○最優秀賞

正木 杏奈 [小浜美郷小学校(小浜市)3年]

○優秀賞

居関 結愛 [小浜美郷小学校(小浜市)6年]
山中 咲奈 [社西小学校(福井市)2年]

○佳作

仲野 倫南 [小浜美郷小学校(小浜市)6年]
谷 宗介 [粟野小学校(敦賀市)5年]
大森 陽真 [小浜美郷小学校(小浜市)4年]
藤田 暉琉 [小浜美郷小学校(小浜市)3年]
吉田 颯汰 [小浜美郷小学校(小浜市)3年]
藤田 樹生 [小浜美郷小学校(小浜市)2年]

【絵画(中学生)の部】

○最優秀賞

高嶋 月花 [坂井中学校(坂井市)2年]

○優秀賞

中廣 優生 [灯明寺中学校(福井市)1年]
平馬 勇星 [至民中学校(福井市)1年]

○佳作

及川 理結 [松陵中学校(敦賀市)3年]
平川 弘樹 [坂井中学校(坂井市)2年]
奥平 彩瑛 [灯明寺中学校(福井市)1年]
島崎 航汰 [灯明寺中学校(福井市)1年]
高間 陽向 [灯明寺中学校(福井市)1年]
中屋 啓佑 [灯明寺中学校(福井市)1年]
北川 優花 [坂井中学校(坂井市)1年]

【作文(小学生)の部】

○佳作

谷口 剣進 [神山小学校(越前市)5年]

【作文(中学生)の部】

○最優秀賞

野村 光希 [足羽第一中学校(福井市)1年]

○優秀賞

白川 聖莉 [藤島中学校(福井市)2年]
吉田 陸 [足羽第一中学校(福井市)1年]

○佳作

松川 陽季 [足羽第一中学校(福井市)3年]
竹山 絢乃 [藤島中学校(福井市)2年]

国土交通事務次官賞

県コンクール 絵画(中学生)の部 優秀賞



平馬 勇星
[至民中学校(福井市)1年]

県コンクール 作文(中学生)の部 最優秀賞

題名
「知ることの大切さ」

野村 光希
[足羽第一中学校(福井市)1年]

県コンクール 作文(中学生)の部 優秀賞

題名
「土砂災害の恐ろしさ」

吉田 陸
[足羽第一中学校(福井市)1年]

県コンクール 最優秀賞

【絵画(小学生)の部】



正木 杏奈
[小浜美郷小学校(小浜市)3年]

【絵画(中学生)の部】



高嶋 月花
[坂井中学校(坂井市)2年]

令和3年度 県からのお知らせ

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策

県では、大規模な浸水・土砂災害・地震等による被害の防止・最小化等を図るため、令和2年度補正予算から「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を進めています。

砂防関係事業では、令和3年度は当初予算に加え、5か年加速化対策の実施により、52箇所です砂防堰堤などの施設整備を進めています。



堀川 砂防堰堤（若狭町小川）
（令和3年度 工事中）



福谷地区 崩壊土砂防護柵（おおい町福谷）
（令和3年度 工事中）

土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定

県では、土砂災害の恐れがある箇所を土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定しており、平成15年から基礎調査、地元説明会等を行い、28年3月に全箇所の指定を完了しています。

令和3年度は、施設整備箇所および地形改変箇所等において、区域の見直しや指定を行っており、土砂災害警戒区域が11,749箇所、特別警戒区域が10,452箇所となっています。

これらの区域については最寄りの県土木事務所および市役所、町役場において閲覧できるほか、福井県土砂災害警戒区域等管理システム(http://sabogis.pref.fukui.jp/MRFukuiS_1)からも確認できます。

なお、土砂災害防止法ではおおむね5年ごとに基礎調査を行うこととなっており、県では、平成15年度からの1巡目、平成26年度からの2巡目に続き、令和2年度から高精度な

地形情報を用いた3巡目の調査を実施しています。

土砂災害警戒区域等の指定状況 R4.3月末現在

市町名	土石流		急傾斜地		地すべり		合計	
	警戒区域	うち特別警戒区域	警戒区域	うち特別警戒区域	警戒区域	うち特別警戒区域	警戒区域	うち特別警戒区域
福井市	808	661	1,623	1,597	41	0	2,472	2,258
敦賀市	335	273	415	405	5	0	755	678
小浜市	447	352	562	560	6	0	1,015	912
大野市	137	112	117	116	14	0	268	228
勝山市	246	176	267	258	22	0	535	434
鯖江市	123	83	314	300	6	0	443	383
あわら市	40	35	186	184	0	0	226	219
越前市	412	307	722	709	6	0	1,140	1,016
坂井市	45	31	176	148	2	0	223	179
永平寺町	176	136	184	183	3	0	363	319
池田町	171	132	167	159	4	0	342	291
南越前町	223	183	326	323	6	0	555	506
越前町	260	196	729	720	12	0	1,001	916
美浜町	174	154	216	208	3	0	393	362
高浜町	145	120	217	210	13	0	375	330
おおい町	309	228	363	362	0	0	672	590
若狭町	490	362	471	469	10	0	971	831
合計	4,541	3,541	7,055	6,911	153	0	11,749	10,452

要配慮者利用施設の避難確保計画作成を支援

平成29年6月の土砂災害防止法および水防法の改正により、土砂災害警戒区域内および洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者・所有者に対し、避難確保計画の作成と避難訓練の実施が義務化されました。

県では、令和元年度から施設管理者等を対象に、市町と連携して講習会とワークショップを組み合わせた講習会プロジェクトを開催し、計画作成の推進を図ってきました。

令和3年度は、福井市、越前市、坂井市の3市が開催し、45施設が参加しました。

さらに、避難確保計画未作成の施設に対しては、市町が個別説明を行うなど、作成支援を行っています。

これら取組みの効果もあり、令和4年2月末現在、15市町で計画の作成を完了しました。

要配慮者利用施設避難確保計画作成状況 R4.2月末現在

市町名	土砂災害警戒区域内			洪水浸水想定区域内 (想定最大規模)		
	対象施設	うち作成済施設数	作成率	対象施設	うち作成済施設数	作成率
福井市	105	105	100.0%	703	687	97.7%
敦賀市	32	32	100.0%	135	135	100.0%
小浜市	22	22	100.0%	68	68	100.0%
大野市	13	12	92.3%	58	57	98.3%
勝山市	10	10	100.0%	5	5	100.0%
鯖江市	9	9	100.0%	98	98	100.0%
あわら市	5	5	100.0%	21	21	100.0%
越前市	21	21	100.0%	154	154	100.0%
坂井市	7	7	100.0%	243	243	100.0%
永平寺町	9	9	100.0%	12	12	100.0%
池田町	2	2	100.0%	4	4	100.0%
南越前町	8	8	100.0%	20	20	100.0%
越前町	17	17	100.0%	10	10	100.0%
美浜町	2	2	100.0%	2	2	100.0%
高浜町	7	7	100.0%	3	3	100.0%
おおい町	16	16	100.0%	10	10	100.0%
若狭町	30	30	100.0%	11	11	100.0%
合計	315	314	99.7%	1,557	1,540	98.9%

防災訓練の実施

県では、6月の土砂災害防止月間を中心に土砂災害の発生を想定した住民参加の防災訓練を推進しており、避難体制の充実・強化を図っています。

令和3年度は、小浜市、大野市、鯖江市、お

おい町において、市町や消防署などの関係機関と地域、住民が連携し、土砂災害発生時の情報伝達や住民への声掛け、ハザードマップを活用した住民避難、在宅要配慮者の避難、避難所開設などを行いました。



防災訓練(大野市)



防災訓練(おおい町)

防災講習会、地域防災リーダースキルアップ研修の開催

県では、災害時の避難意識を醸成するため、住民を対象とした「防災講習会」を開催しています。

令和3年度は永平寺町と美浜町で、土砂災害や水害に対しての日ごろの備えや防災情報の収集・活用方法などについて講義を行いました。

また、地域防災力向上のため、福井地方気象台や県防災士会、NPO法人まちの防災研究会と連携し、防災士や自主防災組織の

リーダー等、地域防災における指導的な立場にある自主防災組織等のリーダー等を対象とした「地域防災リーダースキルアップ研修」を開催しています。

令和3年度は敦賀市と越前市で、災害リスクや災害時の避難行動、情報収集等に関する講義や図上訓練を行いました。

今後も講習会や研修を通して、住民の避難意識醸成や地域の防災力向上を図っていきます。



防災講習会(永平寺町)



リーダースキルアップ研修
講義(敦賀市)



リーダースキルアップ研修
図上訓練(越前市)

土砂災害・洪水ハザードマップを更新

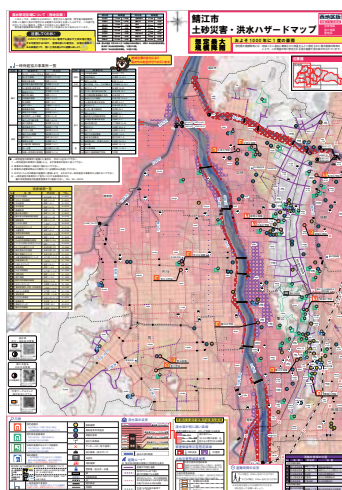
土砂災害防止法および水防法では、土砂災害や水害に関する情報の伝達方法や避難所、避難経路など、円滑な警戒避難を確保する上で必要な事項を周知するため、市町に土砂災害・洪水ハザードマップの作成と住民等への配布が義務付けられています。

県は令和元年度から2年度にかけて、

1,000年に1度以上の想定最大規模降雨に基づく県管理河川の浸水想定区域を指定し、各市町は令和2年度から洪水ハザードマップの更新を行っています。同時に、土砂災害ハザードマップについても、土砂災害警戒区域や避難所などを更新しています。

令和2年度に8市町が更新し、令和3年度

は福井市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、池田町、南越前町、越前町、美浜町の9市町が更新したことにより、全市町で更新作業が完了しました。



土砂災害・洪水
ハザードマップ(鯖江市)



土砂災害・洪水
ハザードマップ(美浜町)

県内初となる砂防カードを発行

県では、砂防施設の役割や重要性、土砂災害防止の理解促進、および砂防施設を新たな地域の観光資源として活用することを目的として、砂防カードの作成を推進しています。

砂防カードとは、ダムカードの砂防堰堤版で、カードの体裁はダムカードの形式に準じて、表面は砂防施設の写真、裏面は砂防施設の型式、諸元や建設したときの技術などを凝縮して載せています。

令和3年度は、県内初となる砂防カードを、大野市が鬼谷川堰堤(大野市佐開)を対象として作成し、令和3年10月8日から配布を開始しました。

続いて、南越前町がアカタン砂防(南越前町古木)の奥の東堰堤および八号堰堤を対象として作成し、令和3年11月18日から配

布を開始しています。

砂防カード作成にあたっては、市町、地元および県の役割分担を定め、三者で協力する体制をとっています。市町はカードの作成や配布、地元は堰堤周辺の清掃や草刈りなどの維持管理、県は現地案内看板の設置やアクセス道路の整備などを行っています。

カードの発行は新聞や地元テレビに取り上げられ、配布開始以降、多くの方が関心を持ち、入手のため来訪しており、人気の高さがうかがえます。

来年度は、鯖江市、および南越前町のアカタン砂防で新たなカードの発行を予定しており、県内で砂防カードを用いた啓発活動の広がりが期待されます。



SABO-DATA

所在地：福井県大野市佐開
 河川名：真名川支流 鬼谷川
 型式：重力式石積堰堤
 規模：高さ6m、堤頂長36m
 管理者：福井県
 本体着工/完成年：明治27年(1894)/明治30年(1897)

大野市
マスコットキャラクター
うまひー うめひー

ランダム情報
 大野市には越前大野城や荒島岳など観光スポットが数多くあります。令和3年4月にオープンした道の駅「越前おおの野鳥の郷」は、越前おおのの育んだ魚を味わえる市場があるほか、大規模災害に備える防災拠点にもなっています。

こだわり技術
 鬼谷川堰堤は、福井県内に現存する最古の堰堤で、大きいもので高さ約1mもある自然石を積み上げて築造されました。現在も土砂崩壊機能を有しており、景観や親水性にも優れています。平成15年9月19日には福井県内の砂防堰堤で初めて国の登録有形文化財に登録されました。

周辺MAP

鬼谷川堰堤

SABO-DATA

所在地：福井県南越前町古木
 河川名：赤谷川(通称:アカタン)
 型式：空石積堰堤 石積導流堤付
 規模：高さ8m、堤頂長25m
 管理者：福井県
 本体着工/完成年：明治33年(1900)/明治39年(1906)

アカタン砂防堰堤群

ランダム情報
 アカタンに棲むいきものたち
 日本の固有種、メスの方が大きいのが特徴です。指先には丸い吸盤があり、木の上でのモリアオガエル 生活に適應しています。

こだわり技術
 奥の東堰堤は、アカタン砂防堰堤群の上流から7番目の堰堤です。底部に石積を築いた堰体右端の水通し部に、延長2.1mの石積導流堤を堰体と直角に取り付けた大規模な石積堰堤です。

周辺MAP

アカタン砂防 奥の東堰堤

SABO-DATA

所在地：福井県南越前町古木
 河川名：赤谷川(通称:アカタン)
 型式：土堰堤 石積導流堤付
 規模：高さ11m、堤頂長112m
 管理者：福井県
 本体着工/完成年：明治33年(1900)/明治39年(1906)

アカタン砂防堰堤群

ランダム情報
 アカタンに棲むいきものたち
 特別天然記念物に指定されています。住む地域によって毛の色に違いがあるニホンカモシカ ります。

こだわり技術
 八号堰堤は、アカタン砂防堰堤群の上流から8番目に位置し、堰堤群で最大規模を誇ります。下流側の土堰堤下部は空石積で築き、堰体右端には延長30mの石積導流堤を取り付けています。

周辺MAP

アカタン砂防 八号堰堤

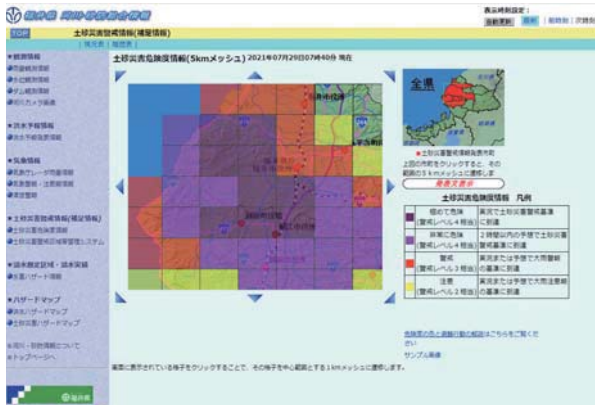
土砂災害危険度情報の提供

県ホームページでは、「福井県河川・砂防総合情報」として様々な防災情報を提供しています。土砂災害に関する情報としては、大雨による土砂災害の危険性が高まった際に、市町長が発令する避難指示等の判断の支援や、住民の自主避難の参考となるよう、土砂災害

危険度情報を提供しており、危険性が高まっている地域を色分けで表示しています。

令和3年7月29日の大雨の際は、土砂災害の危険性が高まっていることを示す紫色が表示され、福井市、鯖江市、越前市、坂井市、および越前町に土砂災害警戒情報を発表し、このうち、福井市と越前町では、土石流やがけ崩れといった土砂災害が発生しています。

県ではホームページでの情報提供のほか、大雨等の際に住民の円滑な避難を支援するため、携帯やスマートフォンに土砂災害の危険度情報等をリアルタイムでお知らせするプッシュ型のメール配信(i-ameメール)も行っています。



福井県 土砂災害危険度情報



i-ameメールの登録はこちら
QRコードから簡単にアクセスできます

土砂災害防止特別パトロールの実施

県の土木部と農林水産部では、土砂・なだれ災害予防対策連絡協議会を設置し、土砂災害防止月間である梅雨時期の6月および台風時期の9月に、土砂災害防止を目的とした特別パトロールを行っており、令和3年度は、6月22日から29日、9月7日から14日の期間に実施しました。

土木事務所、農林総合事務所、市町、警察署、消防署が合同で、土砂災害の危険性がある箇所をパトロールするとともに、住民に注意を呼びかけました。



特別パトロール（坂井市三国町）

盛土総点検の実施

令和3年7月に発生した静岡県熱海市の土砂災害を受け、県では庁内に関係課によるチームを編成し、盛土の規制について検討をしました。

また、全国的な調査として、人家に影響する可能性のある盛土について、総点検を実施

しました。

点検の対象は、各法令の許認可資料や国土地理院作成のデータなどから抽出した100箇所と大規模盛土造成地62箇所としており、現地点検の結果、全ての盛土について危険性がないことを確認しました。

災害対策基本法の改正（災害警戒レベルの変更）

令和3年4月に災害対策基本法が改正され、5月20日から新たな避難情報の運用が開始されました。

これまで、警戒レベル4は、「避難勧告」と「避難指示」の2つの情報で避難を呼びかけていましたが、「避難勧告」が廃止され、「避難指示」に一本化されました。

警戒レベル4の「避難指示」が発令された場合には、対象地域の方は全員速やかに危険な場所から避難することが求められます。なお、土砂災害警戒情報は警戒レベル4に相当する情報になります。

また、警戒レベル5は「災害発生情報」から「緊急安全確保」に変更されました。

警戒レベル5の「緊急安全確保」が発令された場合には、対象地域の方は直ちに安全な場所で命を守る行動をとることが必要です。



警戒レベルの変更（内閣府HPより）

令和3年に発生した災害

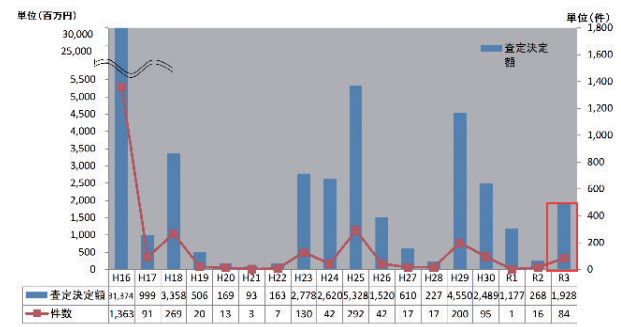
令和3年は、2月の雪崩、3月の融雪、7～8月の大雨により、福井県内7市町で河川、砂防および道路施設などに被害が発生しました。

3月の融雪では、永平寺町藤巻で大規模な斜面崩壊が発生し、約1か月間の県道の通行止めおよび鉄道の運行停止となるなどの大

きな被害となりました。

また、7月29日の大雨では、福井市尼ヶ谷町で土石流が発生し、人家1戸が一部損壊、流出土砂により市道が通行止めとなるなどの被害が生じており、「災害関連緊急砂防事業」で砂防堰堤の整備を進めています。

近年の公共土木施設災害の推移



令和3年災の発生市町別 査定決定額（単位：千円）

市町名	被害額	市町名	被害額
福井市	1,038,144	永平寺町	391,589
大野市	49,505	南越前町	41,477
越前市	113,431	越前町	242,713
坂井市	51,213	合計	1,928,072



永平寺町藤巻の斜面崩壊の状況



福井市尼ヶ谷町の土石流の状況

令和3年度に完成した主な土砂災害対策施設

通常砂防事業

たのたに
田ノ谷川1号砂防堰堤
(福井市田ノ谷町)
[不透過型堰堤]



急傾斜地崩壊対策事業

たこお
竹生第4地区
(福井市竹生町)
[法枠工]



うりゅう
瓜生地区
(若狭町瓜生)
[重力式擁壁工、法枠工]

